

法律の 現場から

133

戦争ムード 問題

弁護士 矢崎 暁子

朝鮮民主主義人民共和国のICBM発射を契機に、「米朝関係の緊迫」が取り沙汰され、頭を抱えたりバケツリレーしたりする訓練が各地で行われています。戦前の日本人も、バケツリレーで火は消せないと知りながら、「ばかばかしい」とは言えずに応じていました。そうした言いなりの国民が、戦争ムードを支えたのです。同じ過ちを繰り返すべきではありません。

また、アメリカによる軍事挑発が情勢を緊迫させているという視点

も必要です。アメリカは、「悪の枢軸」と名指したイラクを壊滅させてみせました。今年7月末にはマーシャル諸島にICBMを撃ち込み、毎年「北朝鮮への侵攻」を想定した米韓合同軍事演習を行っています。軍事大国による見境のない威嚇をやめさせることが国際平和への道です。



生活に関わるお悩み、気軽ににご相談ください

「くらし支える相談センター」 052-916-7702
平日13時～17時

■ちくさ事務所

名古屋市千種区池下一丁目6番20号チサンマンション池下
306 (池下駅から徒歩約5分、東部医療センターから約10分)

協生医療北 無料法律相談

なるべく早く相談をお受けできるよう、相談希望日をお聞きし、弁護士との日時の調整を行っています。申し込みの際には、希望日時をお伝えください。

予約制のため、申し込みは事前に電話で。

☎(052)914-4554

(組織担当課)くらしの委員会

■会場 名古屋北法律事務所
(地下鉄「平安通」下車すぐ)

住所：名古屋市北区平安2-1-10
第5水光ビル3階